



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 プリマハム株式会社 上場取引所 東
コード番号 2281 URL <https://www.primaham.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 千葉 尚登
問合せ先責任者(役職名) 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 内山 高弘 (TEL) 03 (6386) 1800
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	112,891	3.3	3,346	△7.2	3,651	△6.8	2,204	△0.6
2024年3月期第1四半期	109,283	4.6	3,607	5.9	3,915	7.3	2,218	△1.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,641百万円(△28.7%) 2024年3月期第1四半期 3,702百万円(35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	43.87	-
2024年3月期第1四半期	44.15	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	249,305	130,502	47.9
2024年3月期	244,793	130,213	48.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 119,412百万円 2024年3月期 119,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	20.00	-	45.00	65.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	40.00	-	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	235,000	5.5	8,500	24.5	8,900	19.8	5,100	32.1	101.49
通期	470,000	4.8	16,000	35.4	17,000	31.9	10,000	33.5	198.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	50,524,399株	2024年3月期	50,524,399株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	270,914株	2024年3月期	270,641株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	50,253,638株	2024年3月期1Q	50,250,984株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資や個人消費の増加により実質成長率がプラスに転じ景気回復基調となっています。一方で、消費者物価指数は6月においても前年同月と比較して2.6%上昇しております。物価上昇を考慮した実質賃金は、5月迄で26か月連続してマイナスとなっており、物価の上昇に賃金の伸びが追いついていない状況が続いております。

エネルギーコストは高値が継続、引き続き円安が進みその結果、前年同期に引き続き今期も様々な業種において値上げが複数回実施されました。4月からの値上げでは、全食品分野の中でも畜肉加工品や冷凍食品などの「加工食品」の品目が最も多い状況となっております。ベースアップ等で賃金水準は上昇に向かってはいるものの物価高の影響もあり消費は伸びておらず、節約傾向が依然として続いています。当業界におきましては、現地相場高、飼料価格高、疾病問題等の畜肉市場の環境に大きな変動を及ぼす要素が多く、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の中、当社グループは「目指す姿」である「おいしさと感動で、食文化と社会に貢献」という基本的な考えのもと、中期経営計画目標の達成に向けて、「持続可能な経営基盤の強化」と「外部環境の変化に対応した収益基盤の構築」及び「成長投資とグローバル展開」を基本方針と位置づけ、諸施策を講じてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,128億91百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益33億46百万円（前年同期比7.2%減）、経常利益36億51百万円（前年同期比6.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億4百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<加工食品事業部門>

2024年4月に5回目のハム・ソーセージ商品及び加工食品の価格改定を行い、販売先への納品価格の引き上げを実施いたしました。業界全体では継続して、市販用商品市場の販売額が前年同期を下回る厳しい環境が継続しておりますが、当社市販用のシェアは前年に引き続き上昇いたしました。しかしながら製造コストの上昇を補いきれず、損益面では前年同期を下回る結果となりました。

① ハム・ソーセージ部門

主力ブランドの「香薫[®]あらびきポークウインナー」は、定番の2個東商品に加え、大袋ジッパー付き商品の販売も引き続き好調に推移しました。販売促進政策では、東京ディズニーリゾート[®]ご招待キャンペーンや「スマイルUP![®]」キャンペーン、SNSを活用したキャンペーン等を継続的に実施し、今期も販売シェア拡大を継続することができました。結果、市販用商品は売上高及び販売数量ともに前年同期を上回り、順調に推移いたしました。

② 加工食品部門

加工食品部門では、油調商品の「スパイススティック」を中心に拡販を進めることが出来ましたが、ハンバーグ群やミートボール群が低迷しました。また業務用商品においては、外食向け商品が訪日客の消費拡大により市場の回復が図られるも、コンビニエンスストア向け商品が原料価格上昇の影響もあり仕入コストを補いきれなかったことにより、売上高、利益面ともに前年同期を下回る結果となりました。

コンビニエンスストア向けのペンダー事業では、販売価格の見直しにより売上高は前年同期を上回りましたが、原材料高騰や、燃料高、人件費アップなど製造コストの上昇により利益面においては前年同期を下回る結果となりました。

結果、加工食品事業部門における売上高773億35百万円（前年同期比0.3%増）となり、セグメント利益31億71百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

<食肉事業部門>

現地相場の高止まりや為替の影響により海外輸入商品の仕入コストの高騰が継続しており非常に厳しい状況となっています。その為、各畜種の産地見直し等を実施しました結果、売上高は前年同期を上回りましたが、価格転嫁が十分に出来ず、仕入れコストの上昇を吸収できなかったことから、利益は前年同期を下回る結果となりました。養豚事業では飼料価格高止まりの影響はあるものの、売上高、利益ともに前年同期を上回っており、引き続き宮城新農場を中心とした生産事業の拡大を図る所存です。

結果、食肉事業部門における売上高353億93百万円（前年同期比10.5%増）となり、セグメント利益2億19百万円（前年同期比26.9%減）となりました。

<その他>

その他事業（理化学機器の開発・製造・販売等）の売上高1億63百万円（前年同期比27.7%増）となり、セグメント利益70百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ45億11百万円増加し、2,493億5百万円となりました。これは主に、現金及び預金が24億84百万円、棚卸資産が16億27百万円、受取手形及び売掛金が15億83百万円、無形固定資産が5億16百万円増加し、預け金が20億44百万円減少したことによるものです。

<負債>

負債については、前連結会計年度末に比べ42億21百万円増加し、1,188億2百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が33億41百万円、長期借入金（1年以内返済予定含む）が17億98百万円増加し、未払法人税等が9億89百万円、賞与引当金が6億15百万円減少したことによるものです。

<純資産>

純資産については、前連結会計年度末に比べ2億89百万円増加し、1,305億2百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が4億71百万円増加し、その他有価証券評価差額金3億36百万円減少したことによるものです。

○キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて57百万円減少（前年同期は57億27百万円の減少）し97億7百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは31億65百万円のネット入金（前年同期は56億88百万円のネット入金）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益41億82百万円、減価償却費27億21百万円、売上債権15億39百万円の増加、棚卸資産15億77百万円の増加、仕入債務33億11百万円の増加、法人税等の支払24億34百万円です。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは26億39百万円のネット支払（前年同期は81億93百万円のネット支払）となりました。主な要因は、生産設備更新、生産性向上及び品質安定を目的とした有形固定資産の取得による支出16億95百万円、基幹システム構築を目的とした無形固定資産の取得による支出5億86百万円です。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは6億15百万円のネット支払（前年同期は32億82百万円のネット支払）となりました。主な要因は、長期借入による収入27億円、配当金の支払21億92百万円、長期借入金の返済による支出9億1百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月7日付公表の「2024年3月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,253	15,737
受取手形及び売掛金	52,592	54,176
商品及び製品	22,704	24,061
原材料及び貯蔵品	4,623	4,877
仕掛品	4,656	4,672
預け金	2,105	60
その他	3,259	3,715
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	103,192	107,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,769	54,085
土地	19,919	19,933
その他（純額）	24,271	24,848
有形固定資産合計	98,961	98,868
無形固定資産		
のれん	1,440	1,447
その他	10,945	11,454
無形固定資産合計	12,386	12,902
投資その他の資産		
投資有価証券	8,855	8,635
退職給付に係る資産	14,620	14,740
その他	6,851	6,932
貸倒引当金	△74	△74
投資その他の資産合計	30,253	30,234
固定資産合計	141,601	142,005
資産合計	244,793	249,305

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,856	62,197
賞与引当金	1,680	1,064
未払法人税等	2,541	1,552
短期借入金	362	374
1年内返済予定の長期借入金	3,822	4,178
その他	17,887	18,548
流動負債合計	85,150	87,914
固定負債		
長期借入金	15,961	17,403
退職給付に係る負債	4,644	4,600
役員株式給付引当金	108	119
資産除去債務	410	411
その他	8,305	8,352
固定負債合計	29,430	30,887
負債合計	114,580	118,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,908	7,908
資本剰余金	10,199	10,199
利益剰余金	90,554	90,494
自己株式	△397	△398
株主資本合計	108,265	108,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,053	2,716
繰延ヘッジ損益	△11	85
土地再評価差額金	4,532	4,532
為替換算調整勘定	1,847	2,319
退職給付に係る調整累計額	1,626	1,554
その他の包括利益累計額合計	11,048	11,208
非支配株主持分	10,899	11,089
純資産合計	130,213	130,502
負債純資産合計	244,793	249,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	109,283	112,891
売上原価	96,391	100,069
売上総利益	12,892	12,822
販売費及び一般管理費	9,284	9,475
営業利益	3,607	3,346
営業外収益		
受取利息及び配当金	66	104
持分法による投資利益	25	13
補助金収入	97	120
その他	206	258
営業外収益合計	396	496
営業外費用		
支払利息	40	35
デリバティブ評価損	-	140
その他	47	16
営業外費用合計	88	192
経常利益	3,915	3,651
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	-	374
補助金収入	-	221
受取保険金	-	139
その他	-	7
特別利益合計	1	745
特別損失		
固定資産売却損	6	6
固定資産除却損	116	204
その他	17	2
特別損失合計	139	213
税金等調整前四半期純利益	3,777	4,182
法人税等	1,215	1,692
四半期純利益	2,561	2,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	343	285
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,218	2,204

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,561	2,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	869	△341
繰延ヘッジ損益	31	97
為替換算調整勘定	305	471
退職給付に係る調整額	△74	△72
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△4
その他の包括利益合計	1,140	151
四半期包括利益	3,702	2,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,355	2,364
非支配株主に係る四半期包括利益	346	276

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,777	4,182
減価償却費	2,698	2,721
減損損失	13	-
のれん償却額	41	45
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△603	△618
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47	△58
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△228	△220
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	3	10
受取利息及び受取配当金	△66	△104
受取保険金	-	△139
支払利息	40	35
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△374
持分法による投資損益(△は益)	△25	△13
有形固定資産売却損益(△は益)	4	4
投資有価証券評価損益(△は益)	3	-
有形固定資産除却損	116	204
補助金収入	-	△221
売上債権の増減額(△は増加)	△1,044	△1,539
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△307	△820
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,916	△1,577
仕入債務の増減額(△は減少)	7,321	3,311
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,133	64
未払消費税等の増減額(△は減少)	623	△335
長期未払金の増減額(△は減少)	0	77
その他	20	△23
小計	7,660	4,607
利息及び配当金の受取額	71	103
利息の支払額	△40	△36
法人税等の支払額	△2,003	△2,434
補助金の受取額	-	221
保険金の受取額	-	702
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,688	3,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,276	△1,695
有形固定資産の売却による収入	917	4
投資有価証券の償還による収入	-	21
無形固定資産の取得による支出	△1,731	△586
投資有価証券の取得による支出	△304	△320
投資有価証券の売却による収入	0	376
貸付けによる支出	△5	-
貸付金の回収による収入	0	0
敷金の差入による支出	△6	△5
敷金の回収による収入	10	21
定期預金の増減額(△は増加)	△974	△230
長期前払費用の取得による支出	△780	△53
その他	△43	△170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,193	△2,639

財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	12	△5
リース債務の返済による支出	△121	△128
長期借入れによる収入	-	2,700
長期借入金の返済による支出	△975	△901
配当金の支払額	△2,190	△2,192
非支配株主への配当金の支払額	△7	△86
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,282	△615
現金及び現金同等物に係る換算差額	59	31
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,727	△57
現金及び現金同等物の期首残高	14,098	9,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,370	9,707

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

項目	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

1 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業部門	食肉事業 部門	計				
売上高							
食肉	3,972	31,566	35,539	—	35,539	—	35,539
ハム・ソーセージ	27,784	3	27,788	—	27,788	—	27,788
加工食品	45,017	36	45,053	—	45,053	—	45,053
その他	336	107	444	126	571	—	571
顧客との契約から生じる収益	77,111	31,714	108,826	126	108,952	—	108,952
その他の収益	—	329	329	1	330	—	330
外部顧客への売上高	77,111	32,044	109,155	127	109,283	—	109,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	5,512	5,515	13	5,528	△5,528	—
計	77,114	37,556	114,670	141	114,812	△5,528	109,283
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	3,347	300	3,647	58	3,705	△98	3,607

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、理化学機器の開発・製造・販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△98百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△98百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	加工食品 事業部門	食肉事業 部門	計				
売上高							
食肉	4,065	35,231	39,296	—	39,296	—	39,296
ハム・ソーセージ	29,083	4	29,087	—	29,087	—	29,087
加工食品	43,913	53	43,966	—	43,966	—	43,966
その他	273	95	368	162	531	—	531
顧客との契約から生じる収益	77,335	35,384	112,719	162	112,882	—	112,882
その他の収益	—	8	8	1	9	—	9
外部顧客への売上高	77,335	35,393	112,728	163	112,891	—	112,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5,172	5,172	14	5,187	△5,187	—
計	77,335	40,565	117,901	178	118,079	△5,187	112,891
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	3,171	219	3,390	70	3,461	△114	3,346

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、理化学機器の開発・製造・販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△114百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△114百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりです。